



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

# ネット通信 花便り

No.40 (2016年7月号)



(^^♪)花柄摘みも会話が弾む



<園芸福祉の庭・6月定例作業(毎月最終日曜日 10時~12時)>



## 目次

園芸福祉シンポジウム in みえに参加して	2
高齢者と「香りのポマンダー作り」で交流しました	3
福岡市緑のコーディネーター座談会に参加して	4
皇帝ダリアの背丈を低くしたい方に!!	4
親子「いきもの探検隊」募集	5
雑踏を忘れ、癒しの日本庭園で「夏の寄せ植え講座」	6
山笠とこけ玉の思い出	7
あめ庭づくり奮戦記「あめにわ憩いセンター」水澄まし庵づくり	7
夏を乗り切るアイテム 美味しい赤しそジュースで夏バテ防止!!	8
3月末からの主な活動の報告	9
事務局からのお知らせ	11
園芸福祉の庭のいま	12

## 園芸福祉シンポジウム in みえ に参加して

山崎 博子

6月18日三重県多気町で開催された「第15回園芸福祉シンポジウム」に谷口博隆代表と2人で参加しました。中部国際空港から船に乗り伊勢湾を横断、連絡バス。そして紀勢本線の列車に乗り、松阪牛で有名な松阪を通り過ぎ、列車を乗り換え無人駅の多気で降りる。別ルートで来てらっしゃる谷口代表とはメールでお互いのいる場所を確認しながら、目的地の多気駅で出会えた時はホッとしました。晴天の強い日差しのなかを会場まで他の参加者と色々会話しながら歩きました。

今回のシンポジウムは『教育とビジネス、障がい者就農』をキーワードとして、園芸福祉活動がもたらした社会的インパクト(効果)をテーマに、発表や報告、討議が行われました。基調講演は三重県立相可高校生産経済科の生徒さんの発表です。「相可高校での園芸福祉活動」は平成9年に花壇づくりからスタートしているとのことでした。「地域とつながる新しいビジネスモデル コスメ開発で園芸福祉の活性化!」企業や行政を巻き込みながら、商品開発して自ら広報活動や販売活動をしていることを生き活きと語られました。商品の「まごころ tea ハンドクリーム」の使い方を二人一組になって実演される時間もありました。女子生徒から手をマッサージしてもらった男の方の嬉しそうな顔、会場が和みました。「土日にも活動に参加することが多いらしいが、嫌じゃないですか」という質問に「高校生、誰でもこんな貴重な経験をすることが出来るわけではないので」という答えにいい経験をしているなと思いました。それを指導されている先生もすごいです。「農福連携」障がい者の農業分野への就労が官民で進められていますが、三重県は先進的な県らしいですが、取り組みの難しさを感じました。農業分野で障がい者の雇用や就労、または就労体験を行う際に、障がい者がより働きやすくなるよう、農業経営者と障がい者(家族を含む)に必要な支援を行うことのできる農園芸ジョブトレーナーを育成する講座が開催されるそうです。夜の交流懇親会は、場所を松阪市に移し松阪牛の焼き肉。私など松阪牛なんて高く食べられませんので、柔らかくて美味しい肉をたっぷり食べさせていただいて満足でした。



## 三重県園芸福祉ネットワークの取り組み

- 園芸福祉花育活動 花の国づくり三重県協議会  
「国産花きイノベーション推進事業」  
初級園芸福祉士が保育所に向き、園児及び保育士を対象として活動
- 園芸福祉ボランティア 名張園芸福祉ボランティアの会  
花や野菜づくりなどの農園芸作業に携わり多くの人との交流を通じて、心身とも癒やされ、より健康で幸福に生きることを目指し活動する
- 農園芸分野で障がい者就農支援 農事組合法人「花みどりの里」  
初級園芸福祉士が農園芸ジョブトレーナーを習得し農福連携の要として農業現場で中間支援



## 農と福祉の連携(農福連携)

- 「農業者やJA等の農業サイドと社会福祉法人やNPO法人等の福祉サイドが連携することで、農業分野で障害者等の働く場所づくり、あるいは居場所づくりを実現しようとする取り組み」
- 農福連携効果
- 農業サイド...農業従事者の確保・耕作放棄予防
- 福祉サイド...職場確保・地域社会交流など

## 高齢者と「香りのポマンダー作り」で交流しました。

米倉 治美



高齢者向け住宅・ケアガーデンあじさい物語(博多区吉塚)様より講座のご依頼のお電話を頂き、6月20日(月)NPO 緑のキャラバン隊メンバー金澤 美恵子さん、田中 節子さん、米倉 治美の3名で伺いました。同団体で活動しています宇美町ハーブガーデンで収穫したラベンダーのポプリを使った「香りのポマンダー作り」に80代の入居者さん14名が参加してくださいました。

パッチワークの要領で、三角に小さく切った布を2個の卵の殻に貼り付ける作品なので「疲れないかな、大丈夫かな?」と少し心配しましたが、みなさん真剣なお顔で集中して作られていました。女性は細かな手作業はやっぱり得意です。お好みの布の貼り合わせが終わり卵の殻の中にラベンダーのポプリを入れると、部屋中にラベンダーのやさしい香りが広がり「むかし富良野(北海道)に行ったことがあるのよ」と懐かしいお話を聞かせてくださる方、卵の殻の縁に花型のレースを貼ると「可愛い!」とこぼれるような笑顔を見せてくださったり・・・。

私たちが祖母と会話を楽しんでいるような和やかで楽しい時間を過ごさせていただきました。



## 福岡市緑のコーディネーター座談会に参加して

北野 多美子

福岡市緑のコーディネーターに認定されて10年がたちました。私個人としては活動場所の撤退で定期活動はしておらず、イベントの手伝い（学校や南区役所の花壇整備、グリップキーキャンペーン等）を行っています。福岡市緑のまちづくり協会より緑のコーディネーターとの交流及び活動状況を少人数の座談会として7月12日に行われ、福岡市みどり推進課から2名、福岡市緑のまちづくり協会から3名、緑のコーディネーター8名が参加し、それぞれの自己紹介と活動状況、困っていること、これから行いたいことを発表しました。各コーディネーターはほぼ団体に所属し積極的に講座を開催したりイベントに参加されていました。困っていることとしては毎回同じ意見なので省略しますが、これから行いたいことでは、

- ・年配者が集う公園にしたい
- ・子供向けの講座を行いたい
- ・外国人ボランティアの対応（植物ガイド）をしたい
- ・企業とコラボして人と人のつながりをつくろう

など有望意見がありました。

園芸福祉ふくおかネット会員の中には福岡市緑のコーディネーターも兼ねておられる方が多いのですが、今回の座談会は自分の意見を述べるので、参加を打診されたら出席してはいかがでしょうか。

## 皇帝ダリアの背丈を低くしたい方に!!

山崎 博子

九州ガンセンターで花ボランティアを始めた14年前のことです。11月の青空に大きなピンクの花を咲かせる皇帝ダリア。初めて出会った時は驚きでした。ダリアの花に似てるけど空にそびえて咲いている。ダリアの時期は終わってるのに何だろうと近寄って見るけど名前はわかりませんでした。

皇帝ダリアは挿し木で増やせて、一度植えると強いこともあって、今ではあちこちで見ることができます。アイランドシティ中央公園の「園芸福祉の庭」でも毎年花を咲かせています。4m近くになるので、広いところでないと視線に入ってこないことや倒れないようにするために支柱を立てるなど、かなり大変なこともあります。ある年たまたま、台風で大きな幹が途中から折れてしまったのですが脇芽が出てきて花数が増え花が見事に咲きました。アゴを上げなくても、視線の中にとらえることができます。花芽は8月までは付けないそうです。私はアジサイの切り戻しの時期に合わせて天気の良い日にやっています。見通しが利かない狭い場所に植えられている皇帝ダリアにお薦めです。ぜひ、お試しを。

『みんなが楽しく、遊ぶ、学ぶ、魅力ある公園づくり』事業

## 親子「いきもの探検隊」募集

◆ 募集定員 親子 20 組(小学 1 年生以上) ◆ 参加費 500 円(親子 1 組)

◆ と き 7 月 31 日(日)・8 月 7 日(日)2 日間

◆ ところ 県営春日公園

◆ 持ってくるもの/ 筆記用具、帽子、タオル、飲料水、歩きやすい服装・運動靴などでお越しください。※お子さんが使用できるデジカメがある方はご持参ください。公園内はスズメバチが飛んでいます。帽子・服装は白っぽい色を着用してください。※保護者の方へお願い。香水の香りはスズメバチを刺激しますので控えましょう。

7 月 31 日(日) 自然探検にでかけよう!

- 集合場所/ 県営春日公園 自然観察館 1 階
- 探検出発/ 9:30 県営春日公園
- 自然案内人/ 日本野鳥の会福岡支部 小野 仁 先生と公園内の自然探検にでかけます。
- 11:00~12:00 観察のまとめ・ワークショップ 自然観察館 2 階

8 月 7 日(日) いきもの探検隊新聞をつくろう!

- 受付/ 8:30
- 集合時間/ 9:00 ● 集合場所/ 県営春日公園 自然観察館 2 階
- 持ってくるもの/筆記具



- ◆お申し込み・お問い合わせ先/ 福岡県営春日公園 TEL592-0544
- ◆主催/ NPO 法人 緑のキャラバン隊

後援 西日本新聞社 エフコープ生活協同組合 指定管理者 西部ガス・ファイブ共同事業体 ジェイコム九州  
福岡市社会福祉協議会 春日市社会福祉協議会 大野城市社会福祉協議会

※この事業は第 11 回「エフコープ環境助成金」により活動しています。

## 街の雑踏を忘れ、癒しの日本庭園で『夏の寄せ植え講座』

米倉 治美

博多区のオフィス街に佇む日本庭園「楽水園」(博多区住吉)。こちらの指定管理会社から「職員と庭園ボランティアスタッフとで社会貢献活動をしたい」とご依頼をいただき、7月5日(火)楽水園でプランターを使った『夏の寄せ植え講座』をしました。



街の雑踏を忘れて木漏れ日が差す庭園の中で、2か所の高齢者施設に寄贈する寄せ植え8基を作りました。事前のプランターと花選びを米倉が担当させていただきました。楽水園さんの系列園芸店で高齢者になじみの花、高齢者が好きな色合いの花などいろいろ悩みながらの花選び。これが大変ですが、一番楽しい時間です。当日寄せ植え講座では「プランターの前で、高齢者が楽しそうな笑顔で花を観ている様子をイメージしてください」と説明し「花の高低差に気をつける、花色の組み合わせ、花をほんの少し前に傾けて表情を出す。

葉物で流れをつくるポイントなどアドバイスさせていただきました。寄せ植えが終わって「楽しかったです。ちょっとしたことで、作品にボリュームが出ますね、勉強になりました」と労いのお言葉。皆さんの笑顔が伝わる寄せ植えが完成しました。21日(木)各人が寄せ植えされた作品を持って、高齢者施設を訪問します。楽しいお話しに花を咲かせることでしょう。



この日の花苗は、キキョウ、メランポデューム、アンゲロニア、コウシュンカズラミリオンキッス(半つる性)、ディコンドラ(シルバーフォールズ)、コリウス、ハゲイトウ、日日草、千日紅、ペンタス



届いた寄せ植えを囲み花談義で楽しそうな「ケアガーデンあじさい物語」の高齢者さん。

21日「ケアガーデンあじさい物語」・7月22日「ユトリア博多」各4基届けに訪問しました。

## 山笠とこけ玉の思い出

井上 妙子

12年前「第22回全国都市緑化ふくおかフェア アイランド花どんたく」会場の園芸福祉の庭に於いてこけ玉の研修があり、シクラメンの紅白を使って2個のこけ玉を作りました。当時私は、福岡市緑のコーディネーター2期生受講中と青少年野外活動を主とした団体の事務局に居りました。

国際交流キャンプの時いつもお世話になる旅行会社の社長さんが数年の闘病の末ホスピス病院へ転院されましたので最後のお見舞いに行くことになりましたが、お見舞金は一切受け取られないのを知っていたのでシクラメンの赤のこけ玉を持っていきました。

葬儀の時に展示する写真や会場に流れる音楽など全て生前にプロデュースされたこと、シクラメンの花が好きだったことや山笠祭りでは毎年かついであったことなど、告別式の時にはじめて知りました。葬儀会場では「シクラメンの花」の曲も流れていました。ご焼香の時奥様が「こけ玉元気です」とつぶやかれ、看護師さん達や家族全員で枯らさないように頑張っ手入れされていたそうです。出棺の時に山笠仲間の方達が法被姿で博多一本メで見送られました。それから毎年11月になるとシクラメンのこけ玉の注文が10年続きました。1つは仏前に十数個は病院に持参されました。

山笠の時期になるといつも思い出されます。

## あめ庭づくり奮戦記

「あめにわ憩いセンター」水澄まし庵づくり

角銅 久美子

私の住まいの庭には2本の大木があります。

子供たち3人家族5人、新築した時にシンボルツリーとして植樹したものです。

50年前のことです。当時10センチに満たなかった樹でしたが、今や双方とも幹の直径50センチ以上、2階の軒を超え空高く枝を張っています。東南に樺、西南に桜です。その間子供たちは巣立ち、夫も天国に旅たちました。

わが団地、樋井川5丁目50周年記念誌によると住民は786名80才の高齢者が16%（福岡市は5.5%）です。ほとんどが私と同じ境遇、独居後家です。私は旦那がああの世に行ってから「水と緑のまちづくり」を20年かかわりました。

その集大成として2階建ての家の1階を地域に開放することにしました。（みずすまし庵）建物と庭を1体化した空間づくりを、台湾花博で頑張った建築士であり園芸福祉士である木村洋子さんと園芸福祉ふくおかネットの井上妙子さん、山崎博子さんなどの協力を得て取り組むことにしました。

かかわりのある「あまみず社会研究会」の趣旨に沿った雨水を活用した「あめ庭づくり」です。我が家は上流にありますが、都市化により下流はたびたび浸水被害の憂き目にあいます。都市の雨水能力は100mmの雨が降ったとき57mmは処理できますがそれ以上の雨が急激に降ればあふれるとゆうことです。それで43mm以上の雨を貯留、浸透させてゆっくり流すそのため「あめ庭」をつくり、雨水で緑を育て緑に吸収してもらうことを実装するもので、7つの大学が「あ

まみず社会研究会」をつくり研究しています。この「あまみず社会研究会」の取り組みは、多くの人に理解してもらい広めていくものです。

「あめにわ憩いセンター」は多世代・時間をつなぐ空間として提供し、あまみず貯留の視える化、活用化をするもので、太陽熱による足湯、交流のためのコミュニティーガーデン・ワークショップ用学習室・会議室・会食機能をもっています。

樹木の持つ力は大きく、緑の空間に吹く風はかおり緑かがやき、人々に憩いを提供します。園芸福祉のあめ庭作りは、これから地域に根付き地域の人も、私自身も園芸福祉の恩恵に浴することになります。あめ庭完成の折には、またきちんと報告します。(みずすまし庵は完成・あめ庭は8月完成の予定です)



学習室でのワークショップ風景

### 夏を乗り切るアイテム 美味しい赤しそジュースで夏バテ防止！！

#### ○材料

赤しそ	500g (2束くらい)
水	1. 8ℓ
砂糖	500g (ハチミツでも良い)
クエン酸	小さじ2杯 (酢、黒酢、リンゴ酢などでも良い)

※分量は目安です、素材やお好みに合わせて加減してお楽しみください。

#### ○作り方

1. 赤しその葉を枝から切取って流水で水洗いする。
2. 沸騰した湯の中に赤しその葉を入れ、葉の色が変わったら、赤しその葉を引き上げる。
3. 煮汁に砂糖を加え、火を止め、クエン酸を加えると透明感が出て出来上がり、熱いうちに消毒した瓶に詰める。
4. 冷やして、炭酸で割ってスカッシュに、焼酎で割ってサワーに。

○栄養豊富でさわやかな赤しそジュースは、暑い夏に最適の健康飲料です。

○ジュースに使ったしその葉は、炒め物やふりかけなどひと手間とアイデア次第で美味しく楽しむことが出来て無駄になりません。

### 3月末からの主な活動の報告

- ◆ 3月30日（水）NHK文化センター福岡（博多区下川端3-1リバレインオフィス11階）で「癒しの苔玉 ビギナーのための作り方&育て方講座」を受講者16名で実施しました。はじめに映像で園芸福祉ふくおかネットの団体紹介などをして、こけ玉づくりは黒瀬 恵子さんが担当。今回使用した植物は、斑入りヤブコウジとムラサキオモト、皆さん始めの1個は苦戦されて少し時間がかかりましたが、2個目を作られるときには幾分慣れられたようで割りときスムーズに完成されました。体験された皆さんに苔玉づくりに真剣に取り組まれストレス解消に、楽しいひと時であったことを喜んで頂くことが出来た。お持ち帰り用にちょっとおしゃれな袋を用意してサービス。総支社長から、次回も実施したいので協力して欲しいとのお言葉がありました。



そして、6月20日にNHK文化センター福岡の総支社長より「おかげさまで受講者の皆さんからの反響も上々で、次回の講座を期待する声も多数いただいております。今秋、一日講座を再び当教室で開いていただけませんか。」とのお話を頂き、11月11日（金）10:00～開催することになりました。参加者の募集は8月末からの予定とのことです。

- ◆ 警固公園で開催された福博花しるべ花壇コンテストに出展し、優秀賞に輝きました。(´0`)／  
花壇の制作は5名で行いました。花材はラベンダー、ナスタチューム、ペラルゴニューム、シバザクラ等々、春色の花たちとアクセントに竹の人形と水鏡、苔を配して完成しました。優秀賞を受賞できて、制作に関わった私たちも笑顔いっぱいになりました。



タイトル「春の花壇は笑顔がいっぱい」  
笑顔の竹ファミリーとハートの水鏡



優秀賞受賞記念写真

- ◆ 5月4日（水）・5日（木）国営海の中道海浜公園での「癒しのこけ玉体験教室」を開催。



開始時刻は10時30分ですが、9時前から秋の日差しのなか受付横に順番待ちの行列ができていました。このところ「こけ玉づくりを楽しむために来ました！」と言って下さる方が増えています。こけ玉づくり講座は設立以来の十八番となっている活動なので大変うれしいことです。参加者に子どもさんが多いことからケト土の工程でなるべく手が汚れないで容易に作業が出来るように改良しました。それから開始時間を次回10月の開催から30分早めて参加者の待ち時間短縮を図ることになりました。

◆ 5月17日（火）公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会主催の緑のコーディネーター等研修会「夏花壇づくりと維持管理」が福岡市中央市民センターに於いて開催されました。園芸福祉ふくおかネット代表に講演して欲しいとの依頼で講師を務めました。受講者は市内各所で花壇づくりなどの活動を実践されている方が多く、みなさんの真剣な眼差しに幾分緊張しました。内容をしっかりと伝えようと映像を活用しながら要点は出来るだけかみ砕いて説明しましたのでご理解しては頂けたようですが、時間が足りない状態で終わったことは反省しております。

◆ 5月25日から福岡市立特別支援学校「博多高等学園」の授業が始まりました。一回目は、学園前の街路花壇に植えるポーチュラカとマツバボタンの挿し芽と花壇の土づくりをしました。6月7日プラグトレイで育ったポーチュラカの苗を街路花壇に植付け、14日は生徒さんが種から育てたヒマワリの苗を植付けました。大きくなるヒマワリは交通の支障になるため矮性の種類を選んでいきます。いどり鮮やかなポーチュラカとマツバボタン、その上に緑の葉に黄色い花のヒマワリのラインが夏色花壇を演出します。

◆ 6月18日三重県多気町民文化会館で特定非営利活動法人日本園芸福祉普及協会の総会、「第15回園芸福祉シンポジウム in みえ」～園芸福祉活動の社会的インパクト～に参加しました。シンポジウムの基調発表は三重県立相可高等学校の生徒さんによる「相可高校での園芸福祉活動」「地域とつながる新しいビジネスモデル コスメ開発で園芸福祉の活性化」の二つがありました。以前発表して頂きました「孫ジェル」からさらに進化して、地域の特産品を活用した商品開発に取り組んであります。

活動報告は、「農福連携」と題して伊賀市霧生農福連携地域づくり協議会、一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会、農事組合法人花みどりの里、三団体から取り組みについてお話があり、課題や解決のための取り組み、就労に結び付けるためには体験したり、交流するなどの過程を経てから相互の理解を図るなどの方策についても聞くことが出来全体に内容の濃いシンポジウムでした。交流懇親会は松阪市に移動してレストランであの「松阪牛」をお腹いっぱい堪能しました。

◆7月15日グリッピーキャンペーン2016(10月15・16日開催)の会場、舞鶴公園でコスモスの種蒔きがあり実行委員会のメンバーとして参加。福岡市役所の職員、(公財)福岡市緑のまちづくり協会の職員、二つの花づくり活動団体の会員の方たちと一緒に作業してきました。



## 事務局からのお知らせ

### ◆ 体験研修会のお知らせ(場所は、アイランドシティ中央公園内)

◎8月28日(日)13時～ 多肉植物の作品づくり

◎9月25日(日)13時～ ハンギングバスケットづくり

※資材準備の都合から参加を希望される方は、事務局へ申し込んでください。

### ◆ 年会費納入のご案内

◎園芸福祉ふくおかネットの年会費2,000円を郵便局よりお振込みください。

お振り込み先は「園芸福祉ふくおかネット 口座番号 01770-7-57288」です。

◎前年度支払いが遅かった方やお忘れになっていた方も今回お早めをお願いします。

### ◆ 入会を希望される場合の手続きのご案内

◎園芸福祉ふくおかネットに入会を希望される方は、ご連絡の上年会費2,000円を郵便局より次の口座へお振込み下さい。口座名：園芸福祉ふくおかネット 口座番号：01770-7-57288

### ◆ 園芸福祉の庭定例作業のお知らせ

◎毎月、最終日曜日の10時から実施しております。

場所は、アイランドシティ中央公園 園芸福祉の庭(福岡市東区香椎照葉4丁目)です。

花壇の維持管理、花の植栽、花柄摘み、灌水や除草などの作業を12時頃まで。

作業の後は茶話会、活動の近況や花の育て方・土づくり、園芸に関する事など、日ごろの疑問に実践者が応えてくれるプチ勉強会、笑顔とこころ和やかなひと時です。午後体験研修会もしています。

あなたも一歩踏み出して! 「園芸福祉の庭」の定例作業に参加してみませんか。

会話も弾み、笑顔がいっぱいで、とっても楽しいですよー♪

### ◆ 定例会のご案内

◎園芸福祉ふくおかネットでは、毎月第3土曜日 15時から2時間程度

福岡市ボランティアセンター「あすみん」で定例会を開催しております。

事業活動の報告と計画、会員相互の活動報告、情報や意見の交換、作品の紹介、質問など役立つことがいっぱいです。定例会が終わってからの交流会は、本音が飛び交い、楽しい交流のひと時です。

※NPO・ボランティア交流センター「あすみん」(中央区今泉1-19-22 天神クラス 4階)

◆ **あなたも活動紹介をしませんか？**

- ◎ 個人やグループ、学校、施設、地域などで行っている園芸福祉の活動をお知らせ下さい。
- ◎ メールやFAX、お手紙に写真を添えて、次のページの事務局までお送りください。

● **園芸福祉ふくおかネット事務局** ●

- ・ 〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25
- ・ TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)
- ・ FAX : 092-521-6247
- ・ E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- ・ ホームページ : 園芸福祉ふくおかネット 検索



**園芸福祉の庭のいま**



(^^♪ 花たちは、とっても元気 be healthy (^o^)/